時事新報定價
時事新報へ一年三百六十五日一日も休刊セズ其代價還送料廣告料ハ左ノ如シ
一枚二錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓
〇時事新報ハ毎日郵便ニテ發送スルモノニ限リ右定價ノ外ハ一箇月十五錢ノ還送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

時事新報

政黨以外の政黨

來る七月の總撰擧を爭ふて孰か兼議院に出席する其議員の種類は果して幾千なるべきや曰く自由黨員曰く保守黨員曰く自治黨員曰く改進黨員曰く保守黨員曰く愛國公黨員曰く大同團結員曰く改進黨員曰く自由黨員曰く愛國公黨員曰く大同團結員曰く改進黨員曰く保守黨員曰く自治黨員その他何々等種々雜多の集合體あるべし扨適き來來を推測すれば此等の各小黨も漸次に纏れ〳〵て遂には大同小異相讓り二大黨若くは三大黨の大區分を見るに至るみとある可き歟あれども先づ當分の間は互に其勢力を張らんとして有らん限りの手段を運らし相競爭する其有樣は定めて花々しき事なるべし如何とあれば今日政黨論者の爲す所を見るに政紀と云ひ黨議と稱するものは大抵同一なるに似たれども實際に於て反目敵視するの狀は吳越も啻あらずして稱には人身攻擊さへ及ぶとなきにあらず即ち主義を以て反對するに非ざるの一體にして或は其黨派に於ける人物の臭味を嫌ふもあらん或は偶然のみにより心に不快を感じたるもあらん或ひは名を求むるに急にして人と共にするに堪へざるもあらん要するに人情一種の弱點に驅逐せられ政治の得失をば深く意に介するに遑あらずして只管黨勢の擴張に重きを置くものならん畢竟時勢の然らしむる所にして甚だ妙なりと云ふ可き既に政治上の主義よりして分るゝものに非ずとすれば其議場に於て爭ふ所の問題も政事の大問題のみに限らずして些細の事にも小是非を爭ひ毋數の黨を分する所往々局外者をして驚愕するに至らしむるも亦是れ自然の勢なりと豫期せざるを得ず斯くして互に實合ふ間に多數を占むるものは其勝利に誇るみとあらんと雖も事の成行として多數必ずしも公平ならず時としては其道に非ざる所を貫かんとするの場合もある可きなれば是ゝ故てか我輩は其黨派競爭は中間に立て能く中正を守り得を得とし失を失とし以て議場の流弊を抑制するの機關あらんみとを望望するものあり而して今みの機關は何れの邊に存するやと云へば從來何政黨派の肩書なき中立の議員よりして思ふに其數は甚だ多からずと雖も勢力は決して微弱ならざる可し假に之を議員の總數四分の一とするも元是れ何れの黨派にも屬せざるものなれば若しも個々獨立して議場に臨むときは俗に云ふ多勢に無勢よて他の多數黨派の爲めに壓せられ正論公論も遂ゝ貫く能はずして止む可きあれども其中立議員が純然たる中立の同志を結合して以て一團を造り改進黨にも倚らず自由黨にも偏せず嚴當不當、正不正を吟味して彼れ當を得れば彼れを助け、是れ正に中れば是れを友となし時としては一方に又時としては他方に贊成するときは黨派的の議員も其贊成を得て勝利を占めんと欲するより勉めて公正ならんとを思ひ議事の結果庶幾くは極端の弊ゝも經濟の上に於ても又人種の上に於ても佛國と親密あるべからざる事情あり如何となれば五十九年の役に伊國の獨立を助けたるものはナポレオン三世にして其就一を妨げ其獨立を妨げ其領地を蠶食したるものは墺國あり然るに墺國に與して佛國に敵せんとするは何の故ぞグラッドストーン氏が匿名の論文よて伊國の三國同盟に加りたるを非難し政略の愚あるものと評したるは至當の評なり又墺國が獨逸に同盟したるも亦奇と云ふべし露國來侵の恐れなきにあらずと雖ども墺論眼前の敵は露にあらずして普國なり六十六年の戰爭に一敗して以來墺國は外は强迫條約によりて古より屬國視せし南獨逸諸小國との關係を斷絶され內は八百萬の獨逸人種、國の基を動すの原素となり今の墺國の脆弱なるは全く普魯西が隆盛に赴きし故なり然るに從々之を助けて其隆盛を維持せしめんとするは政略の一奇變と云はざるべからず

今年に入りて今日までの跡を察するに以上の如く順序を履まず自然に從はざる國際關係の漸く改まらんとする景況あり伊佛の關係より申せばオーガスメ大公の死の如きマリアニー氏伊國駐在佛國公使の事爾の如き英蘭の紛議に佛國の輿論が大に英國の非を攻めて同人種たる蘭國を助けたる以來書狀に復せんとするの傾きは事々物々に關はれて新聞紙の議論も溫和に復し殊に通商條約の談判破裂以來每月の如く激昂せし關稅戰爭の兩國間に跡を絶ちたるが如き其重あるものとして見るべきなり次ゝ今一層政變の甚しきは佛露の關係あり陸軍大佐ストッセル氏が露國排擊、西部及び中部歐洲の列國同盟論及び他の老政治家も之ゝ類する意見多く殆んと今の佛國の輿論の如し而して獨逸の輿論は受動的の狀なれども要するに其だ穩和にして兩國力を合せ永遠の利益を希望するや明白あり

却つて既く近頃列國をして順序を履まず自然ゝ從はざるの政略を止むを得ずして取らしめたるは佛國の復讐心より起る所にして今年の書に復するの政變を來したるも其根本を尋ぬれば佛國あり佛國の政治家は前には露と結び又三國を敵に受け今は三國と和交して露を排するの政略を取らんとす前後の變化甚しき事世人をして其眞僞を判する能はざらしむ並し列國外交の事情を知らざるものは其變化を以て佛國內閣交迭頻繁の弊となし或は甚しきは佛人に一定の政略なきが故なりと評する者あれ共全くの謬見なり曾てフランツ一世の時に當りて歐洲諸國の敵視せし土耳其と同盟せし事あり之が爲めに害を受けたる國ありしが故に其國の歷史家は冷淡の評を下せども佛國の爲めゝは一時の權道にして利益したること少からず佛露同盟の如きも一方に三國同盟ありて動もすれば佛國を脅嚇するが故に止を得ずして結びたるのみ佛國の政治家が機會もあらば三國同盟を破り或は破るみと能はずとも其基礎を脆弱ゝなし以て成るべく速に露國と合同するの政略を廢せんと希望したるは明白なり如何となれば露國は實に歐洲列國の厄介物にして佛國が長く遲退を共にすれば列國に對するの威嚴を損するのみならず其弊は實易の上に波及して國力を劇ひるの樣とあればあり

皇帝二職工の獻論を親聽す　當獨逸國皇帝が刑國勞働法會議に付き非常なる熱心を以て其準備を監督する事は世上に知れ渡りたる事實にして過日議會議員にては學者シュモルレル、グナイスト其他實際家、官吏等が調査したる事項を評議に監督する其說氣は帝は勞働に關ふ僅の意見を陳ぶ名は愚論を以て

のにて二人の議員は帝の目前にて聽聞されたる由

班を知るべし

勞働法會議の議論に付き來ず其議場西政府が資布き議題を之とは

國政府の議題も

題と異なる點は

の此のみ其他は

國會議員撰擧の

るみと無論なり

大多數を占むる

みとなれば到底

裂の變を生じ政

ず若し同黨が彌

るみとあるべけ

るべき勢ありと

○前田農商務次官　昨日午前東京經由陸み親く各種の

取引をなし居る

他の事柄を質問

○高崎知事の談　榮太郎、稻垣平郎

崎知事に面會し

末知事は同工事

日下の有樣にて

は東京市長の資

と述べたるよし

○陸軍大臣學校の學生試驗を執るといふ

○大演習報告書　軍大演習の成績

なる由にて遲て

○第一高等中學　四年より英語と

修指令を取消し

入學試驗に支支

○茶業組合中央　柄木町に在りし

一昨三日東京を

跡へ移轉したり

○神奈川縣書記　整理し其方針を

管區長會、組合

上諸事打合をな

回宛集會を開く

○神奈川縣區々　一日に掛け大に

圍訂り、備付品

雜報

◎伯林通信　三月十日發　都宇生稿

佛國急激共和黨の新外交政略を評す

怨恨、猜忌、不滿の諸情を混合する歐洲列國間の交際政略は變化實に測るべからざる事恰も秋天の定めなきが如く殆んど端倪すべからざるに似たれども歷史上より觀察して長日月の間に測量すれば自ら一定の方針あるを發見する事難からず一時の政變一場の紛議よりして時に或は順序を履まず自然に從はざるの外交政略を見るみとあるも此等は永續するみとなし但し怨恨漸く散じて間もなく新に不平を生じ或は其不平未だ消えざる間に新しく亦紛擾の種子を持く等は外交上免るべからざる所にして爲めに無益の費財と時日を費し國家永遠の大計を忘れて歷史上一定の外交政略を纏がざるみと少あからず彼の實際の利益を攫するに機敏あり之の評ある英國の大陸政略は常に大陸の列國間に爭鬪を起さしめ列國をして英國と實利主義の競爭する能はざらしむるに在り獨佛の政治家は英國の此政略を充分承知すと雖ども人事の如何ともする能はざる憤忍至極と只だ嘆息するの外なきもの〳〵如し

獨墺伊三國の同盟若くは佛露同盟說の如きは止むを得ざるに出でたるにもせよ奇怪なる政變と云はざるべからず歷史上長く對露政略を實行したる佛國と民主政略を毒蛇の如く恐怖する露國の間に同盟を結ぶとは一寸考ふる所にても其奇なるを知るべけれども特に佛國は五十六年の巴里講國會議に主唱者とあり露を制し其境に侵はれる暴侮に軍艦を浮べるみとを禁じたるゝ其後に至りては一時露國の東歐政略を助けて大に黑海に勢力を伸張せんとするを妨げざりしとは實に想像の及ばざる政變と云ふべし次に伊太利が獨墺に與みして佛國を敵視したるが如きも一時通商條約改正談判に勢力を得るが故に又或は殖民政略に佛人の障害を死れん